

プロジェクト 畜産を守る家畜衛生対策の推進

目標

・ 監視伝染病の発生件数 R5：100件 → R10：50件

挑戦する内容

- ・ オンラインを活用した飼養衛生管理基準の遵守指導による監視伝染病の発生予防
- ・ 特定家畜伝染病発生時の民間事業者等との連携による防疫対策の強化
- ・ 豚熱ワクチンの接種適期の更新による豚熱発生防止対策の強化
- ・ 牛伝染性リンパ腫や子牛の下痢・肺炎など生産性を阻害する疾病の対策強化

関係者の声 ＝対話

- ・ オンラインでの指導・確認により疾病のリスクが低減されるため活用したい。(生産者)
- ・ 特定家畜伝染病を想定した防疫演習を実施してほしい(民間事業者)

役割分担

- ・ 生産者：農場の飼養衛生管理基準の遵守及びオンライン化の推進
- ・ 関係団体：生産者に対する講習会の開催
- ・ 民間事業者：防疫対応の協力体制の構築
- ・ 県：講習会講師の派遣、防疫演習の企画、オンラインを活用した飼養衛生管理基準の遵守指導、豚熱の抗体検査の実施・豚熱ワクチンの接種適期の更新、牛伝染性リンパ腫対策などの普及啓発

変革後の姿

- ・ 生産者の主体的な飼養衛生管理基準の遵守及び接種適期を反映した豚熱ワクチンの接種による監視家畜伝染病の発生予防
- ・ 官民の連携強化による迅速かつ円滑な防疫体制の確立によるまん延防止の実現

令和8年度計画

挑戦する内容

- 1 オンラインを活用した飼養衛生管理基準の遵守指導による監視伝染病の発生予防
 - ・ 各家畜保健衛生所ごとにモデル農場を設定し、年間を通じた指導を実施(各2農場)
 - ・ モデル農場等から得られた多様な指導方法等の蓄積及び共有
 - ・ モデル農場等へのオンラインに対応する端末の貸出(随時)
 - ・ オンライン指導の普及啓発に向けた研修会の開催(各家保1回)及び生産者への支援の在り方の検討
- 2 特定家畜伝染病発生時の民間事業者等との連携による防疫対策の強化
 - ・ 民間事業者と締結した包括協定に基づき防疫演習を開催し、防疫対応をより実践的なものにより、家畜伝染病が発生した場合でも速やかにまん延を防止できる体制を構築(9月)
- 3 豚熱ワクチンの接種適期の更新による豚熱発生防止対策の強化
 - ・ 抗体検査を継続的に実施し、接種適期を確認するとともに、免疫付与率が8割を切った場合は、抗体価のばらつきを調査し、ワクチンの追加接種を検討
 - ・ 免疫状況や豚熱ワクチン接種時期等に関する生産者向けの研修会を開催(各家保1回)
- 4 牛伝染性リンパ腫や子牛の下痢・肺炎など生産性を阻害する疾病の対策強化
 - ・ 牛伝染性リンパ腫対策の普及啓発に向けた講習会の開催(各家保1回)及び対策実施農場を拡大
 - ・ 栄養管理やワクチン接種など飼養衛生管理の徹底による疾病対策の推進



研修会でのオンライン指導の説明

対話

- ・ 生産者向け講習会を開催し、牛伝染性リンパ腫などの疾病対策を推進するとともに、意見交換を実施(5月)
- ・ 部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築(7月、1月)
- ・ 生産者向け研修会を開催し、検査結果に基づいた豚熱ワクチンの接種時期の更新等を推進するとともに、意見交換を実施(8月)
- ・ オンライン指導に関する研修会を開催し、モデル農場における実施状況の紹介や課題等を共有するとともに、関係者と意見交換を実施(9月)